歯科医学総論

総論 I 保健医療論〔約 12%〕

	大項目	中項目	小	項	目	備考
1	健康・疾病・障害の概	ア健康の概念				
	念	イ健康に関わる要因				
		ウ 社会環境の変化				
		エ 疾病の自然史と対応				
		オ 障害の概念と対応				
2	保健・医療・福祉・介	ア 医事衛生法規				
	護関係法規	イ 保健衛生法規				
		ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関				
		連法規				
		エ 予防衛生法規				
		才 薬事衛生法規				
3	保健・医療・福祉・介	ア 衛生行政の組織				
	護の仕組みと資源	イ 医療機関				
		ウ 福祉施設				
		エ 介護施設				
		才 医療関係職種				
		カ 福祉・介護の制度と職種				
		キ 医療連携、チーム医療				
		ク 保健・医療・福祉・介護の制度と				
		連携				
4	地域保健、地域医療	ア 公衆衛生活動,地域保健活動				医療政策を含む
		イ 医療計画、健康増進計画				
		ウ ヘルスプロモーション				
		エ 地域保健活動の進め方				
		オ 都道府県、市町村、保健所の歯科				
		保健業務				
		カ プライマリケア				
		キ かかりつけ歯科医機能				
		ク 救急・災害時等の歯科保健医療対 策				大規模災害を含む
		ケ へき地医療				
		コ 在宅医療、在宅歯科医療				
5	歯科法医学	ア 死体解剖と死因究明制度				
		イ 死後変化				
		ウ 個人識別、身元確認				
6	社会保障と医療経済	ア 社会保障制度				
		イ医療保険、介護保険				
		ウ 医療経済と国民医療費				
7	国際保健	ア 世界の保健・医療の問題と方向性				
		イ 国際保健・医療協力				

I 保健医療論

総論Ⅱ 健康管理・増進と予防〔約9%〕

1	健康の保持・増進と予 防	ア 健康教育・学習、保健指導、健康 相談	
	防	相談	
		イ 健康づくり(栄養、運動、休養)	
		ウ 禁煙指導・支援	
		エ健康診断、スクリーニング検査	
		オロ腔の環境・機能	
		カロ腔の診察・検査	
		キ歯への沈着物	
		ク歯科口腔保健の推進に関する法	
		律	
2	母子保健、母子歯科保	ア現状、動向	
	健	イ母性保健	
		 ウ 小児保健	
		カ 妊産婦の歯科保健	
		+ 乳幼児の歯科保健	
		ク 乳幼児歯科健康診査	
		ケ 母子歯科保健教育	
3	学校保健、学校安全、	ア現状、動向	
	学校歯科保健	イ学校保健の領域・内容	
		ウ学校保健関係者	
		エ学校歯科保健教育	
		才 学校歯科保健管理	
		力 組織活動	
		+ 学校安全	
4	産業保健、産業歯科保	ア現状、動向	
	健	イ 労働安全衛生管理	
		ウ 業務上疾病、作業関連疾患	
		エ 健康診断、事後措置	
		オ産業歯科保健の意義	
		力 産業歯科保健活動	
		キ職業性歯科疾患	
5	成人保健、成人歯科保	ア現状、動向	
	健	イ 特定健康診査、特定保健指導	
		ウ 成人歯科保健	
		エ成人の口腔保健管理	
6	高齢者保健	ア現状、動向	
		ウ QOL <quality life="" of="">、日常生活</quality>	
		動作 <adl></adl>	
		 エ 要介護高齢者の歯科保健・医療	
		才 地域支援事業	
7	精神保健福祉	ア現状、動向	
		イ精神的健康の保持・増進	

大項目	中項目	小項目	備考
	ウ 精神的健康の破綻と対応		
	エ精神的健康と社会整備		
	オ精神障害と歯科保健		
8 障害者保健福祉	ア現状、動向		
	イ 障害者と社会		
	ウ 障害者の保健と医療・福祉		
	エ 障害者の歯科保健と医療・福祉		
9 人口統計と保健統計	ア 人口統計		
	イ保健統計		
10 疫学とその応用	ア疫学の概念		
	イ疫学指標		
	ウ 統計解析		
	エ 因果関係の成立		
	オ 観察研究		
	カ 介入研究		
	キ 歯科集団検診		
	ク 歯科領域における統計指標		
	ケ 歯科領域における疫学調査		
	コ 齲蝕の疫学要因		
	サ 歯周病の疫学要因		
	シ 不正咬合の疫学要因		
	ス 口腔癌の疫学要因		
11 感染症対策	ア 感染症の疫学		
	イ 感染症対策		
	ウ 院内感染対策		
12 国民栄養と食品保健	ア国民栄養の現状		
	イ 食事摂取基準		
	ウ 食生活指針		
	エ 食育基本法		
	オ 食の安全性と機能性		
	カ 食の機能と口腔保健		
13 環境保健	ア環境と適応		
	イ 地球環境の変化・健康影響		
	ウ 環境汚染の発生要因・健康影響		
	エ 公害の健康影響と対策		
	オ 環境汚染の評価と対策		
	力 廃棄物処理		
	キ 大気・水と健康		
	ク 放射線と健康		
	ケ 騒音・振動と健康		
	コ 住居と健康		

総論Ⅲ 人体の正常構造と機能〔約5%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 細胞、組織	ア 生体を構成する基本物質		
	イ細胞の構造・機能		
	ウ 細胞間情報伝達機構		
	エ 遺伝子、遺伝		
	才 上皮組織		
	カ 支持組織		血液を含む
	キ筋組織		
	ク神経組織		
2 器官系	ア 骨格・筋系<運動器系>		
	イ 消化器系		
	ウ 呼吸器系		
	エ循環器系〈脈管系〉		
	才 泌尿器系		
	力 生殖器系		
	キ 神経系<中枢・末梢神経系>		
	ク感覚器系		
	ケ 内分泌系		血清カルシウム調節
			機構を含む
3 免疫	ア 免疫系臓器、免疫担当細胞		
	イ 免疫応答とその調節		
	ウ 自然免疫		
	エ獲得免疫		

総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能〔約9%〕

	大項目	中項目	小項目	備考
1	頭頸部の構造	ア頭頸部の骨		副鼻腔を含む
		イ 頭頸部の筋		
		 ウ 頭頸部の脈管		
		エ頭頸部の神経		
		オ 頭頸部の内臓		咽頭、喉頭を含む
		力顏面		
2	口腔・顎・顔面の構造	ア 口腔前庭		
-		イ 固有口腔		
		<u> </u>		
		<u></u> 工 舌		
		力 唾液腺		
		+ 頰		
		<u>ケ</u> ロ唇		
		 サ 歯列		
		<u>シ</u> 		
3	口腔・顎・顔面・頭頸	ア下顎位、下顎運動		
	部の機能	イ 咬合接触、咬合様式		
		ウ 顎関節の機能		
		工 吸啜		
		才 咀嚼		
		力 嚥下		
		キ 嘔吐		
		ケ嗅覚		
		コ発音、構音		
		サ顎・口腔領域の反射		
		シー味覚		
		ス顔面皮膚の感覚		
		セー粘膜の感覚		
		ソー唾液分泌		
		夕 呼吸		
4	歯・歯周組織の構造と	ア歯の形態		
	機能	イ 歯式		
		ウ エナメル質		
		エ 象牙質・歯髄複合体		
		オ セメント質		
		カ 歯肉		
		キ 歯根膜<歯周靱帯>		
		ケ 歯槽骨		
		コ 歯・歯列の機能		
5	口腔の生態系	ア・唾液		
		イ 常在微生物叢		
		ウ プラーク<口腔バイオフィルム>		

総論V 発生、成長、発達、加齢〔約3%〕

	大項目	中項目	小項目	備考
1	人体の発生・成長・発	ア 生殖、初期発生		
	達・加齢	イ 胎芽期		
		ウ 胎児期		
		エ 新生児期、乳児期		
		才 幼児期、学童期		
		カ 思春期		
		キ 成長・発達の評価		
		ク 加齢、老化		
		ケ 骨格・筋系<運動器系>		
2	機能の発達	ア 運動・感覚機能		
		イ認知機能		
		ウ言語機能		
		エ 情緒・社会性		
3	歯・口腔・顎・顔面の	アの顔面		
	発生	イ 顎、口蓋		
		ウ 舌		
		エ 唾液腺		
		才 顎関節		
		カ 歯の形成・萌出		
		キ 歯周組織の形成		
		ク 軟骨内骨化、膜内骨化		
		ケ 骨の形成・吸収・改造<リモデリン		
		グ〉		
		コ 石灰化機構		
4	歯・口腔・顎・顔面・	ア 脳頭蓋の成長発育		
	頭蓋の成長発育	イ 顔面頭蓋の成長発育		
		ウ 歯列・咬合の成長発育		
5	口腔・顎の機能の発達	ア咀嚼		
		イ嚥下		
		ウ 唾液分泌		
		エー味覚		
6	加齢・老化による歯・	ア 形態的変化		
	口腔・顎・顔面の変化	イ機能的変化		

総論VI 病因、病態〔約9%〕

	大項目	中項目	小項目	備考
1	病因論	ア 染色体・遺伝子・発生の異常		
		イ環境と疾患		
2	細胞組織の傷害	ア 代謝障害(変性)		
		イ 萎縮		
		· 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		
3	修復と再生	アロ腔の診察・検査		
		イ 肥大、過形成(増生)		
		ウ 化生		
		エー再生		
		オ 創傷治癒		
		力 異物処理		
4	循環障害	ア全身の循環障害		
		イ局所の血液分布異常		·
		ウ閉塞性の循環障害		
5	炎症	ア炎症の概念		
		イ 炎症の原因		
		ウ 炎症に関与する細胞		·
		エ炎症の機序・病態		
		オ 急性炎症、慢性炎症		
		カ 肉芽腫性炎の種類・特徴		
6	感染症、アレルギー、	ア感染の概念		
	免疫疾患	イ 病原微生物		
		ウ 宿主側の因子		
		エ 感染症		
		才 免疫不全		
		カ 自己免疫疾患		
		キ アレルギー反応(過敏症)		
7	腫瘍	ア腫瘍の概念		
		イ 腫瘍発生の病因		
		ウ 腫瘍の疫学		
		エ 腫瘍の発育様式		
		オ 腫瘍の組織学的構造		
		力 構造異型、細胞異型		
		キー良性腫瘍、悪性腫瘍		
		ク 前癌状態、前癌病変		
		ケ 腫瘍と宿主の関係		
8	疼痛	ア 侵害受容性疼痛		
		イ 神経障害性疼痛		
		ウ 心因性疼痛		
		エ 口腔・顔面領域の疼痛		
9	中毒、放射線障害	ア 中毒の発生要因・病態生理		
		イ 放射線の身体的影響		
		ウ 放射線の遺伝的影響		
		エ 放射線の確率的・確定的影響		
10	医原病	ア 検査・診断に伴う医原病		

Ⅵ 病因、病態

20

	大項目		中項目	小	項	目	備	考
		1	治療に伴う医原病					
11	歯・口腔・顎・顔面・	P	先天異常・後天異常					
	頭蓋疾患の病因・病態	イ	歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織					
			・辺縁歯周組織の疾患					
		ウ	口腔粘膜の疾患					
		л	唾液腺の疾患					
		オ	顎・顎関節の疾患					
		力	囊胞					
		キ	腫瘍					
		ク	損傷					
		ケ	口腔・顎顔面領域に症状を伴う全					
			身疾患					
		Э	口腔疾患の治療に伴う変化					
		サ	リスクファクター					
12	歯の喪失に伴う口腔・	P	口腔の形態・機能の変化					
	顎・顔面の変化	イ	顎骨の形態変化					
		ウ	顔貌の変化					
		н	顎関節の変化					
		オ	全身への影響					
13	個体の死	P	死の概念・判定					
		イ	生物学的な個体の死					

総論Ⅶ 主要症候〔約4%〕

大項目	中 項 目	小項目	備考
1 全身的症候	ア 一般的症候		発熱、全身倦怠感、 体重が少・増加、シ ョック、意識障害、 失神、脱水、浮腫、 けいれん、めまい、 咳、喀鳴、チ アノーゼ、胸痛、呼 吸困難、とり切れ、動 悸、頬脈、、本 整脈、血圧上昇・低 下、食思(欲)不振、 悪心、嘔吐、下痢、 貧血、睡眠障害、頭 痛、頭重度
	イ 皮膚、外表 ウ 呼吸器、心臓、血管 エ 消化器 オ 血液、造血器、免疫 カ 口腔の診察・検査		嚥下障害
2 歯・口腔・顎・顔面の	 キ 心理、精神機能 ク 神経(知覚障害と運動障害を含む) ケ 内分泌、代謝、栄養 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 		
症候	イ 辺縁歯周組織 ウ 歯列、咬合 エ 口腔粘膜 オ 顎骨 カ 顎関節 キ 顔面		
	ク 舌、軟組織、唾液腺、リンパ節 ケ 口腔機能障害	 a 開口・閉口障 害、咀嚼障害、 摂食・嚥下障 害、発音・構 音障害、味覚 障害、呼吸障 害、感覚障害、 口腔乾燥 	

	大項目		中項目	小	項	目	備	考
1	診察総論	P	医療面接					
		イ	診察の基本					
		ウ	全身の診察					
		л	救急時の診察					
		オ	根拠に基づいた医療 <ebm></ebm>					
		力	評価の基本					
2	小児への対応	P	身体的特徵					
		イ	心理・社会的特徴					
		ウ	診察					
		I	評価					
		オ	留意すべき疾患				発達障害(学習障害
							<ld>、注意</ld>	欠陥多動
							性障害 <adf< td=""><td>⑪〉、自閉</td></adf<>	⑪〉、自閉
							症スペクト	・ラム障害
							<asd>)の楒</asd>	[念と対応
3	障害者への対応	P	障害の概念					
		イ	障害の分類					
		ウ	診察					
		I	評価					
		オ	介助、介護、患者管理					
4	妊婦・授乳婦への対応	P	身体的特徴					
		イ	心理・社会的特徴					
		ウ	診察					
		л	評価					
		オ	歯科治療上留意すべき事項					
5	高齢者への対応	P	身体的特徴					
		イ	心理·社会的特徵					
		ウ	医療情報の収集					
		エ	診察					
		オ	評価					
		力	要介護高齢者の歯科治療					
		+	在宅歯科医療					
		ク	摂食・嚥下障害とリハビリテーシ					
			ョン					
		5	多職種連携					
6	全身疾患を有する者へ の対応	P	留意すべき疾患				 悪性新生物 脳血管疾患 肝疾患、糖 血圧性疾患 など 	、腎不全、 f尿病、高
		イ	身体的特徴					
		ウ	心理・社会的特徴					
		I	医療情報の収集					
		オ	診察					
		- カ	評価					
		+	医療連携、チーム医療					

₩ 診察

総論IX 検査〔約16%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 口腔内検査・口腔機能	ア歯の硬組織の検査		
検査			
	エ 辺縁歯周組織検査		
	オー舌・口腔粘膜検査		
	カ歯列・咬合検査		
	キ 唾液・唾液腺検査		
	クロ腔清掃状態検査		
	 ケ 下顎位検査		
	コー下顎運動検査		
	サ顎関節・筋機能検査		
	シ 舌運動・舌圧検査		
	ス咀嚼機能検査		
	セー咬合力検査		
	ソ 嚥下機能検査		
	タ 構音機能検査		
	チ 鼻咽腔閉鎖機能検査		
	ツ味覚検査		
	テロ臭検査		
2 画像検査	ア電離放射線		
	イ 放射線の単位・測定		
	ウ 放射性同位元素		
	エ エックス線撮影装置・器材		
	オ エックス線画像の形成		
	カ デジタル画像システム		
	キ 放射線の防護・管理		
	ク 検査における医療情報		検査情報検索システ
			ム、診療支援システ
			ム、画像情報システ
			ム、画像診断支援シ
			ステム <cad></cad>
	ケロ内法エックス線検査		
	コ パノラマエックス線検査		
	サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査		
	シ CT		
	ス 歯科用コーンビームCT		
	セ MRI		
	ソ シンチグラフィ		SPECT、PETを含む
	タ 超音波検査		
	チ 造影検査 ツ 内視鏡検査		
3 検体検査	ツ 内視鏡検査 ア 検体の採取・保存		
0 1天11年1天11	a danami ta ta ta		
	イ 一般臨床検査 ウ 血液学検査		
	- ジー 皿 叙字 便宜 - 工 生化学検査		

24

大項目	中項目	小項目	備考
	オ 免疫学検査		
	カ 微生物学検査		
	キ病理組織学検査、細胞診		
	ク 染色体・遺伝子検査		
4 生体機能検査	ア 呼吸機能検査		パルスオキシメトリ
	イ 心機能検査		
	ウ 消化管機能検査		
	エ 肝・胆道機能検査		ICG試験
	オ 膵機能検査		
	カ 内分泌・代謝機能検査		
	キ 基礎代謝検査		
	ク 腎機能検査		
	ケ脳波検査		
	コ 筋電図・神経伝導検査		徒手筋力テスト
5 その他の検査	ア皮膚検査		プリックテスト、皮
			内テスト、針反応テ
			スト、パッチテスト
	イ皮膚知覚検査		

総論X 治療〔約13%〕

	大項目	中項目	小項目	備考
1	治療計画	ア治療計画の立案		
		イ 治療計画を左右する因子		
		ウ 治療計画の提示		
		エ治療の評価		
2	治療の基礎	ア 主訴の改善		
		イ キュアとケア		
		ウ 原因療法		
		エ対症療法		
		オ 保存療法と外科療法		
		力 緩和療法		
		キー再生療法		
		ク 再建療法		
		ケー小児の治療		
		コ障害者の治療		
		サ 成人の治療		
		シ 高齢者の治療		
3	救急医療	ア 乳児に対する一次救命処置		
		イ 小児に対する一次救命処置		
		ウ 成人に対する一次救命処置		
		エ 高度な気道管理		
		オ 成人・小児に対する二次救命処置		
		カ 窒息・誤飲・誤嚥に対する対応		
4	手術・周術期の管理	ア 手術の適応		
		イ 口腔環境の評価		
		ウ 全身状態の評価		
		エ 全身的偶発症		
		才 術前管理		
		カ 術中管理		
		キ 術後管理		疼痛の管理、感染予
				防、栄養管理
		ク 外科的侵襲に対する反応		
5	手術基本手技	ア消毒と滅菌		
		イ切開法		
		ウ 止血法		
		工 縫合法		
		オ 穿刺、切開排膿、ドレナージ		
		カ 抜歯		
		キ 口腔の小手術		
		ク移植、再植		
		ケ創傷の治療		
6	麻酔、緩和医療	ア局所麻酔法		
		イ局所麻酔薬、血管収縮薬		
		ウ 全身麻酔法		日帰り全身麻酔を含
				む
		エ 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬		

X 治療

大項目	中項目	小項目	備考
	オ 筋弛緩薬とその拮抗薬		
	力 麻酔補助薬		
	キ術前管理と麻酔前投薬		
	ク 術中・術後管理とモニタリング		
	ケ 吸入鎮静法、静脈内鎮静法		
	コ合併症、偶発症		
	サ 疼痛とQOL <quality life="" of=""></quality>		
	 シ 緩和ケア 		
			インコントロール
7 リハビリテーション	ア リハビリテーションの概念		
	イ 摂食・嚥下障害のリハビリテーシ		咀嚼障害、摂食・嚥
	зン		下障害
	ウ 発音障害・構音障害のリハビリ		構音機能障害
	テーション		
	エロ腔機能管理		
	才 栄養管理		経口栄養、経静脈栄
			養、経管栄養
	カ 栄養サポートチーム <nst></nst>		
	キ 多職種連携		
8 放射線治療	ア放射線治療の生物学的・物理学的		
	基礎		
	イロ腔領域の放射線治療		
	ウ照射の有害反応		
	エ放射線治療患者の口腔管理		
9 薬物療法	ア薬物療法の種類		
	イ適用方法と剤形		
	ウ 薬物動態		
	エ 薬効に影響を及ぼす因子		
	オ薬物の作用部位・作用機序		
	カ用量と反応		
	キ 薬物の連用		
	ク 服薬指導		
	ケ薬物の副作用・有害作用・薬物相		
	互作用		
	コ薬物適用の注意		服薬計画
	サ鎮痛薬		麻薬性・非麻薬性鎮
			「痛薬
	シ 抗炎症薬		抗アレルギー薬、ス
			テロイド性抗炎症
			薬、非ステロイド性
			抗炎症薬
	ス抗感染症薬		抗菌薬、抗真菌薬、
			抗ウイルス薬、消毒
			薬
	セー抗腫瘍薬		

X 治療

大項目	中 項 目	小項目	備考
	ソ 代謝改善薬、ビタミン		硬組織代謝改善治療
			薬
	夕 止血薬、抗血栓薬		
	チ 齲蝕予防薬		
	ツ 薬物の保管・管理		麻薬・向精神薬
	テ臨床試験		二重盲検法、無作為
			化、GCP<医薬品の臨
			床試験の実施の基
			準〉、治験審査委員会
			<irb></irb>
10 その他の治療法	ア理学療法		温熱、寒冷、水、光、
			電気、徒手、マッサー
			ジ、呼吸理学療法
	イ 超音波療法		
	ウ 運動療法		筋機能療法
	エ東結療法		
	オ レーザー療法		
	カ 免疫療法		
	キ 酸素療法		
	ク 高気圧酸素療法		
	ケー心身医学療法		自律訓練法、行動療
			法、認知行動療法、
			カウンセリング
	コ IVR <interventional radiology=""></interventional>		
	サ輸液療法		
	シ 輸血療法		
	ス精神療法		

総論XI 歯科材料と歯科医療機器〔約13%〕

大項目 中項目 小項目 備 1 生体材料の科学 ア 有機材料 イ セラミック材料 ウ 金属材料 エ 複合材料 カ 機械的性質	考
イ セラミック材料 ウ 金属材料 エ 複合材料 オ 物理的性質 カ 機械的性質	
エ 複合材料 1 オ 物理的性質 1 カ 機械的性質 1	
オ 物理的性質	
オ 物理的性質 カ 機械的性質	
ク生物学的性質と生体安全性 インプラン	/トにおけ
るオッセス	トインテグ
レーション	~を含む
2 診療用器械 ア 歯科用ユニット	
イエアータービン	
ウ マイクロモータ	
エーレーザー装置	
3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削工具	
イ 研磨剤	
4 印象用材料 ア 酸化亜鉛ユージノール	
イモデリングコンパウンド	
ウ 印象用石膏	
エ 印象用ワックス	
オアルジネート	
力 寒天	
キシリコーンゴム	
クポリエーテルゴム	
ケポリサルファイドゴム	
コ 機能印象材	
サ 印象用トレー	
5 模型用材料 ア 歯科用石膏	
イレジン系模型材	
6 歯科用ワックス ア インレーワックス	
イパラフィンワックス	
ウ シートワックス、レディキャステ	
ィングワックス、スティッキーワ	
ックス、ユーティリティーワック	
ス	
7 予防塡塞・成形修復・ ア コンポジットレジン	
歯内療法用材料 イ 歯質接着処理材、接着性モノマー	
ウ グラスアイオノマーセメント	
エ 歯科用アマルガム	
オー予防塡塞材	
カ 仮封材	
キー裏層材	
ク 覆髄材	
ケー根管充塡材	
8 歯冠修復用材料 ア レジン	

大項目		中項目	小項目	備考
	1	陶材		
	ウ	金属焼付陶材		
	エ	アルミナ		
	オ	ジルコニア		
	力	ガラスセラミックス		
	+	金合金		
	ク	金銀パラジウム合金		
	ケ	銀合金		
	コ	陶材焼付用合金		
	サ	チタン、チタン合金		
	シ	支台築造材		
	ス	暫間補綴・修復用材料		
9 義歯用材料	P	基礎床材料		
	1	加熱重合型アクリルレジン		
	ウ	常温重合型アクリルレジン		
	エ	ポリスルフォン、ポリカーボネー		
		Р		
	オ	人工歯		
	カ	義歯床用裏装材		軟質裏装材を含む
	+	金合金		
	ク	金銀パラジウム合金		
	ケ	コバルトクロム合金		
	コ	チタン、チタン合金		
	サ	ステンレス鋼		
	シ	歯科用磁性合金		
	ス	ろう材		
10 レジンの成形技術	術・機 ア	加熱重合		
器	1	常温重合(流し込み成形)		
	ウ	光重合		
	I	加熱・加圧形成		
11 セラミックスの周	成形技 ア	陶材の築盛・焼成		
術・機器	1	陶材と金属の接合		
	ウ	セラミックスの成形加工		
	エ	CAD/CAM		
12 金属の成形技術	・機器 ア	鋳造工程		
	1	石膏系鋳型材		
	ウ	リン酸塩系鋳型材		
	エ	鋳造精度		
	オ	鋳造欠陥		
	力	ろう付け		
	+	鋳接、溶接		
	ク	塑性加工と焼きなまし		
	ケ	軟化熱処理と硬化熱処理		
13 歯科接着技術・株	機器 ア	エナメル質被着面処理		
	イ	象牙質被着面処理		

大項目	中項目	小項目	備考
	ウ セラミックス被着面処理		
	工 金属被着面処理		
14 合着・接着・仮着用材	ア レジンセメント、接着性モノマー		
料	イ グラスアイオノマーセメント		
	ウ ポリカルボキシレートセメント		
	エ リン酸亜鉛セメント		
	オ 酸化亜鉛ユージノールセメント		
	カ EBAセメント		
15 歯科矯正用材料	ア 線材料、ワイヤー		
	イ バンド、ブラケット		
	ウ 接着材		
	エ エラスティック		
	オ 床用レジン		
16 歯周治療・口腔外科・	ア インプラント材料		インプラントの基本
インプラント用材料			構造を含む
	イ 骨補塡材		
	ウ 骨接合・顎骨再建プレート		
	エ 組織再生用材料		
	才 縫合糸、包帯		